

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成26年4月17日(2014.4.17)

【公表番号】特表2013-520990(P2013-520990A)

【公表日】平成25年6月10日(2013.6.10)

【年通号数】公開・登録公報2013-029

【出願番号】特願2012-556068(P2012-556068)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	16/28	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 0 7 K	16/28	
A 6 1 K	39/395	T
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	43/00	1 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月27日(2014.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

イヌまたはネコCD20を認識し、配列番号17-43から選択される配列を含む、抗体またはそれらの抗体フラグメント。

【請求項2】

イヌまたはネコCD20を認識し、配列番号17-43から選択される少なくとも1つのCDR領域を含む、請求項1に記載の抗体または抗体フラグメント。

【請求項3】

AVD-1からAVD-13までから選択される可変ドメイン構造を含む、請求項1または2に記載の抗体または抗体フラグメント。

【請求項4】

配列番号20、21、22、24、25、26、28、32、33、36、37、38、39、41および43からなる群から選択される軽鎖ならびに配列番号17、18、19、23、27、29、30、31、34、35、38、40および42からなる群から選択される重鎖を含む、請求項1から3のいずれかに記載の抗体または抗体フラグメント

。

【請求項 5】

ヘテロキメラ抗体である、請求項 1から4のいずれかに記載の抗体または抗体フラグメント。

【請求項 6】

イヌ C D 2 0 に結合し、定常領域がイヌ起源であるか、またはネコ C D 2 0 に結合し、定常領域がネコ起源である、請求項 1から5のいずれかに記載の抗体または抗体フラグメント。

【請求項 7】

定常ドメインが、増強された A D C C および / または C D C を提供するために選択された配列を含む、請求項 1から6のいずれかに記載の抗体または抗体フラグメント。

【請求項 8】

m A b C D 2 0 - 1、m A b C D 2 0 - 2、m A b C D 2 0 - 5 および m A b C D 2 0 - 6 からなる群から選択される抗体と同じエピトープに結合する、請求項 1から7のいずれかに記載の抗体または抗体フラグメント。

【請求項 9】

請求項 1から8のいずれかに記載の抗体または抗体フラグメントをコードする核酸。

【請求項 10】

有効量の請求項 1から9 のいずれかに記載の抗体または抗体フラグメントを投与することを含む、C D 2 0 を発現する細胞の過剰増殖により特徴付けられる疾患または状態に罹患している動物を処置する方法。

【請求項 11】

疾患または状態が癌または炎症性疾患である、請求項 10に記載の方法。

【請求項 12】

癌がリンパ腫であり、炎症性疾患が関節炎またはアトピー性皮膚炎である、請求項 11に記載の方法。

【請求項 13】

化学療法薬または第2のモノクローナル抗体である第2の薬物の共投与を含む、請求項 10 から 12のいずれかに記載の方法。

【請求項 14】

第2のモノクローナル抗体が C D 5 2 に対するモノクローナル抗体である、請求項 13に記載の方法。

【請求項 15】

動物が C D 2 0 に対する抗体を含む診断アッセイを使用して診断され、該動物が C D 2 0 を発現する細胞の過剰増殖により特徴付けられる疾患または状態に罹患していると診断される、請求項 10 から 14のいずれかに記載の方法。